

提 言 書

本市はこれまで、COOL CHOICE 運動などを積極的に進め、環境保全に対する市民意識の醸成を図ってきました。

3年後の2021年には「湿地サミット」の開催、4年後の2022年には「ジブリパーク」のオープンを控えており、美しい環境で来場者をお迎えする必要があります。また、本市のかけがえのない自然を大切にする思いを、子どもや孫、その後の世代に引き継ぐためにも、地球温暖化を防止する取り組みへの協力を、より多くの市民に働きかける必要があります。

市民の日常の行動が、COOL CHOICE 運動への参加に繋がるよう、下記の内容を盛り込んだ「エコチャレンジデー」を市として設け、環境にやさしい長久手市の構築を目指すため、提言します。

エコチャレンジデー、又はチャレンジ週間の設定

市民イベント等と関連付けている自治体も多い事から時期は問いませんが、6月の環境月間など、電気の使用量が多くなる前に設定する事が望ましいと考えます。

1 CO2削減「見える化」活動推進の拡充

日常生活の中で、二酸化炭素の発生と抑制を「見える化」できるチェックシートを配布し、環境保全に対する意識啓発を目指すものです。既に市内の小学校・中学校で行われていますが、高等学校も対象とすることを求めます。

2 エコ通勤・エコドライブの普及啓発、取組みの強化

(1) エコ通勤・エコ外出（徒歩、自転車、N-バスやリニモなど公共交通機関及び相乗りによる通勤や外出）の促進と、強化ウィーク・ノーマイカーチャレンジデーの設定

(2) 自動車使用時のエコドライブの徹底（急発進・急加速の禁止、不要なアイドリングや荷物積載の防止、事前計画による合理的ルートを選択等）

3 レジ袋お断わり・Refuse（リフューズ）の取組みを強化

市内でレジ袋を無償提供している店舗に対して一定期間、有料化に協力頂

くよう要請すること。又は店頭ポップやポスターなどを掲示して、来店客にエコチャレンジデーをPRし、「レジ袋を断る」取り組みへの参加を要請すること。

平成31年3月 日

長久手市議会 暮らし建設委員会